

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
NHK #もしかして… からだをさわられたのかぞくのけんかが こわいの？	NHK「#もしかして…」 制作班//編/飯田 千里// 絵/奥山 真紀子//監修	からだのいやなところをさわられたり、おとながいつもけんかばかりしていたり、きょうだいがぼうりょくをふるわれていたり…。そんなことが、あつたりする？もしそうだったら、ひとりでかかえこまないで。せんせいでもともだちでもいい。きみのきもちをはなしてみよう。きみのみかたは、かならずいるから！体のいやなところをさわられたり、兄弟が暴力をふるわれたり…。虐待される子どもを周囲の人が助けられるよう、つらい思いをする子に向けて「SOSを出して」と伝える。NHKのアニメを絵本化。	2020.11	G-4	46928	金の星社
自分も相手も尊重し、心理的安全性を高めるア サーティブ・コミュニケーション	森田 汐生//監修	相手の思いを聴き、尊重しながら、自分の思いも伝える「アサーティブなコミュニケーション」。ビジネスでよくある様々な問題について、具体的な対処法やより良い関係を築ける言い換え例を、イラストとともに豊富に紹介する。文献：p222～223	2024.8	E2	46886	ナツメ社
日本の女性・ジェンダーのいちばんわかりやすい 歴史の教科書	飯田 育浩	どうして日本史に登場する女性は少ないのか？ 歴史分野の編集・執筆に長年携わってきた著者が、職業、結婚、教育、戦争、政治参画といった12テーマの歴史的経緯を、図表やイラスト、写真を交えてわかりやすく解説する。	2024.6	B1	46894	グラフィック社
焼き芋とドーナツ	湯澤 規子	有名無名を問わず、近代社会への転換期と産業革命期を生きた日米の女性たちのライフストーリーを記述。「なかったこと」にされてきた日常茶飯の世界と、実は主体的だった女性労働者の実像を蘇らせる。	2023.9	B1	46878	KADOKAWA
シモーヌ VOL. 8/Les Simone /特集：音楽とジェンダー	シモーヌ編集部	雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック。場所やジャンルを超えてジェンダーと深く結びついている音楽を「読む」ことで、人々を抑圧するジェンダー規範を解きほぐす。ヌード写真あり。	2023.6	A2	46902	現代書館
ジェンダー研究と社会デザインの現在	萩原 なつ子//監修/萩原 ゼミ博士の会//著/森田 系太郎//編	治体、医師、環境、フクシマ、AIをジェンダーの視点から分析するとともに、社会デザインに係る幅広いトピックについて論じる。萩原なつ子の立教大学退職を記念した一冊。萩原なつ子の経歴、業績リストも掲載。出版年月（誤植）：2021年3月	2022.3	A1	46860	三恵社
男が介護する	津止 正敏	かつて女性中心で行われてきた家族の介護。今では男性が担い手の3分の1を占めるが、問題は少なくない。悲喜こもごものケアの実態、介護する男性が集い、支え合う各地のコミュニティの活動を、豊富なエピソードを交えて紹介。	2021.2	K2	46910	中央公論新社

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
タフラブ／tough love 絆を手放す生き方	信田 さよ子	「タフラブという快刀」（梧桐書院 2009年刊）の改題，加筆修正再編集／アルコール依存症などの家族の対応として推奨されてきたタフラブ＝手放す愛。困難を乗り越えるためのキーワードとして使われてきた「絆」に疑問符を投げかけ、タフラブという生き方を紹介する。	2022.9	E1	46852	dZERO
伊藤野枝集	伊藤 野枝／〔著〕／森まゆみ／編	17歳で故郷を出奔し、雑誌『青鞥』に参加。弱者を抑圧する社会の矛盾をまっすぐに見据えた伊藤野枝は、大杉栄と共に憲兵隊に虐殺されるまで、嵐のごとく生を駆け抜けた。野枝の魅力を伝える創作、評論、書簡を収録。	2019.9	B2	46845	岩波書店
母は不幸しか語らない 母・娘・祖母の共存	信田 さよ子	母が重たい娘たち、団塊女性の母であることの困難、存在感を増す祖母…。母娘問題の第一人者であるカウンセラーが、豊富な事例とともに、3世代の共存の方向性を探る。新章「高齢化する母と娘たち」を加筆、改題し文庫化。	2024.1	F2	4682	朝日新聞出版
男女共学の成立 受容の多様性とジェンダー	小山 静子／編著／石岡学／編著	戦後民主主義のもとで推進された高等学校の男女共学化。単線ではないその道程を、歴史的視点に立ち、全国さまざまな地域において検証し、これからの教育におけるジェンダーの課題を提示する。	2021.6	G3	4680	六花出版
女性の自立をはばむもの 「主婦」という生き方と新宗教の家族観	いのうえ せつこ	主婦たちが「新宗教」に魅了された80年代から現在に至るまで、この国の「女性の自立」をめぐる何が起き、新宗教の家族観はそこにどのように影響を及ぼしてきたのかを考察。女性の貧困、著者の父の「妾」をめぐる旅も収録。	2023.5	F2	4683	花伝社／共栄書房
女性公務員のリアル なぜ彼女は「昇進」できないのか	佐藤 直子	なぜ女性管理職は基幹部署にいないのか？ 正規公務員の女性活躍について、多数の研究やヒアリング調査をもとに、自治体の現役課長兼研究者が数字を使って明快に説明する	2023.3	L1	4679	学陽書房
女らしさの神話 下	ベティ・フリーダン／著／荻野 美穂／訳	女性たちを苦しめている「女らしさの神話」から抜け出す道、それは、妻や母としてだけではなく、ひとりの人間として生き、自己実現をはかることだ。20世紀フェミニズムの記念碑的著作に、初版以降の増補も収録した完全版。	2024.9	A2	4678	岩波書店
女らしさの神話 上	ベティ・フリーダン／著／荻野 美穂／訳	アメリカの主婦たちに広がる原因不明の不安やいらだち。その「名前のない問題」は、結婚と家庭が幸せだとする「女らしさの神話」のせいではないか。フェミニズム運動高揚のきっかけとなった1963年の名著を全訳。	2024.9	A2	4677	岩波書店

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
家父長制の起源 男たちはいかにして支配者になったのか	アンジェラ・サイニー//著 /道本 美穂//訳	男性が女性を支配する「家父長制」は、人類の始まりから続く不可避なものなのか。最新の科学、考古学、人類学などの成果をもとに歴史をひもとき、世界各地を訪ねながら、抑圧の根源を徹底的に考察し変革の可能性を探る。	2024.1	F1	4676	集英社
災害と性暴力/Gender-Based Violence in Disasters 性被害をなかったことにしない、させないために。	Nursing Today ブックレット編集部//編集 /小川 たまか//執筆/ 長江 美代子//執筆/中野 宏美//執筆/原田 奈穂子 //執筆/草柳 和之//執筆	震災時に起こった性暴力の実態を示すとともに、メディアでの伝えられ方や支援者の視点、加害者の心理など、災害と性暴力の問題を多面的に捉える。同じことを繰り返さないために我々は何をすべきかを考えるきっかけとなる一冊。	2023.1	C1	4676	日本看護協会出版会
ことばが変われば社会が変わる	中村 桃子	「セクハラ」ということばが広く使われるようになった結果、セクハラが目に見えるようになったように、ことばには、社会の見方を変化させる力がある。笑えるエピソードや具体例をたくさん盛り込みながら、ことばが社会を変化させるメカニズムを明らかにする。	2024.7	J3	4674	筑摩書房
女の一生は女性ホルモンに支配されている！ プレ更年期から高齢期まで	天野 恵子	「セクハラ」ということばは社会の何を変えた？ 流行語「女子」がもたらしたものは？ 新しいことばの普及や流行語が起こす社会変化に注目し、ことばが社会を変化させるメカニズムを明らかにする。	2024.3	D4	4673	世界文化社
ハマれないまま、生きてます こどもとおとなの あいだ	栗田隆子	子どもにも大人にもハマれないまま生きてきた著者が、幼少時からの絶望、性、自己否定と生へのあがきを見つめ、「ことば」と「思想」を得てきた過程を語る。作品案内付き。	2024.5	E2	4672	創元社
ジェンダー史10講	姫岡 とし子	女性史・ジェンダー史の軌跡とその成果を紹介。史学史を振り返りつつ、家族・身体・政治・福祉・労働・戦争・植民地といったフィールドで、女性史とジェンダー史が歴史の見方をいかに刷新してきたかを論じる。	2024.2	B1	4671	岩波書店
終活契約の実務と書式	特定非営利活動法人遺言・ 相続・財産管理支援セン ター（編）	財産管理・法定後見・任意後見・遺言・死後事務委任・見守り（ホームロイヤー）などといった各サービスを一括して受注する契約である終活契約の実務を、関係する書式から織り込みながら、ポイントを押さえて解説。高齢の依頼者に相談対応する際に知っておくべき事項を、法的知識のみならず、葬儀・法骨、ペット、空家対策、保険、税務や介護保険などの社会実務上の知識も含め、網羅的に整理。	2022	K1	2588	民法法研究会
令和6年版 男女共同参画白書	内閣府男女共同参画局		2024	N.2	2587	内閣府男女共同参画局
月刊ウィラーン5月号 (No.840)	村松 泰子（編集・発行）	特集 外国人住民の人権保障と共生	2024.5	I	2589	(公) 日本女性学習財団

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
月間ウィラーン6月号 (No.830) 男女共同参画のための情報誌	村松泰子 (編集・発行)	特集「男女共同参画」のこれから、「日本は平等に向かっているのか」、「ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方」、日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会「子の人近藤佳美さん」	2023.6	I	2586	(公) 日本女性学習財団
サッカーボールひとつで社会を変える スポーツを通じた社会開発の現場から	岡田 千あき	ゆるやかな人間関係をつくる、社会課題の解決に取り組む、国の未来をイメージする…。主に開発途上国で行われている「サッカーで社会を変える」試みの事例を、活動が行われた国の背景や人びとの生活とともに紹介する。	2014.6	A1	4669	阪大リーブル 49
エトセトラ VOL. 10 (2023FALL/ WINTER) / 特集男性学 フェミマガジン	周司 あきら // 特集編集	毎号、新しい編集長がその時いちばん伝えたいテーマを特集するフェミマガジン。VOL. 10は、「特権」「加害性」「生きづらさ」で終わらない、その一歩先にある「男性性」の多様さを探る。	2023.11	I	4668	エトセトラブックス
女ことばってなんなのかしら? 「性別の美学」の日本語	平野 卿子	日本語の「女ことば」、それは日本人に根付く「性別の美学」の申し子である。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。	2023.5	J3	4667	河出書房新社
家族と厄災	信田 さよ子	パンデミックは水面下の家族問題をあらわにした。家族で弱い立場に置かれた女性達の手さぐりと再生の軌跡を、臨床心理士が見つめる。ウェブマガジン『生きのびるブックス』連載を加筆修正、書き下ろしを加えて単行本化。	2023.1	F2	4666	生きのびる ブックス
ドイツの女性はヒールを履かない/Warum deutsche Frauen keine High Heels tragen 無理しない、ストレスから自由になる生き方	サンドラ・ヘフェリン	日本の女性はがんばりすぎ! 周囲に合わせたり、固定観念に縛られて疲れていませんか? 「ヒールは履かない」など、無理をしない、ストレスから自由になるドイツ流の生き方を伝える。門倉多仁亜のインタビューも掲載。	2023.7	E2	4665	自由国民社
ジェンダー格差 実証経済学は何を語るか	牧野 百恵	歴史・文化・社会的に形成される男女の差異＝ジェンダー。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。	2023.8	L2	4664	中央公論新社
なぜ理系に女性が少ないのか	横山 広美	高等教育機関における理系分野の女性の学生の割合がOECD諸国では最下位の日本。女子生徒の理科・数学の成績は世界でもトップクラスなのに、なぜ理系を選択しないのか。綿密なデータ分析からその理由を明らかにする。	2022.11	G3	4662	幻冬舎

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
女子マンガに答えがある 「らしさ」をはみ出すヒロインたち	トミヤマ ユキコ	「はいからさんが通る」「YAWARA!」「のだめカンタービレ」…。不朽の名作から今が旬の話題作まで、「らしさ」の檻を解体するヒロイン約100名を縦横無尽に語り尽くす。マンガ作家山本美希との対談も収録。	2023.5	H1	4661	中央公論新社
シモーヌ VOL. 6 / Les Simonees ／特集：インターネットとフェミニズム／私たちの空間を守る	シモーヌ編集部	フェミニズムから見たインターネットの歴史：p122～127 雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック。ICT業界はなぜ男性中心なのか？フェミニズムはインターネットを有効に使ってきたのか？インターネットの歴史と現象をジェンダー視点で考える。テキストデータ請求券付き。	2022.6	I	4660	現代書館
東京貧困女子。 彼女たちはなぜ躓いたのか	中村 淳彦	1 女子大生、派遣社員、シングルマザー…貧困に喘ぐ東京暮らしの女性たちの心の叫びを、「個人の物語」として紹介。問題解決の糸口を探る。『東洋経済オンライン』連載をもとに単行本化。	2019.11	C4	4663	東洋経済新報社
三淵嘉子の生涯 人生を羽ばたいた“トラママ”	佐賀 千恵美	昭和15年、日本初の女性弁護士となり、戦後、日本初の女性裁判所長となった、三淵嘉子。法曹界において時代を切り開いてきた彼女の生涯を、取材や資料などをもとに描く。	2024.4	B2	4659	内外出版社
ケアしケアされ、生きていく	竹端 寛	社会の規格からはみだしてはいけないと、忖度（そんたく）したり、空気を読んだりしてしまう。でも、そんな社会は息苦しくて生きづらい。お互いがケアし合う関係になるには？自分のありのままを大切に「ケアのある社会」とは何かを考える。	2023.1	M4	4658	筑摩書房
ジェンダー目線の広告観察	小林 美香	コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「デキる男」像…。ジェンダーの視点で公共空間にあふれる広告を読み解き、メディアリテラシーの必要性などを考察する。	2023.9	H1	4657	現代書館
ケアの倫理 フェミニズムの政治思想	岡野 八代	自分のありのままを大切に「ケアのある社会」にしよう！〈20歳の大学生の世界〉〈6歳の女の子の世界〉〈48歳の著者が生きる世界〉の3つの世界をつなげながら、ケア中心の社会とは何かを考える。	2024.1	A2	4656	岩波書店
分断されないフェミニズム ほどほどに、誰かとつながり、生き延びる	荒木 菜穂	「女カースト」に基づく「子なし」女性の劣等感、母親と独身女性がともに忌み嫌うミソジニーな風潮…。分断させられる女性同士の関係性をフェミニズムの視点から論じ、女性のつながりのあり方を再考する。	2023.12	A2	4655	青弓社

2024年度 入荷図書・DVD 紹介

タイトル	著者	内容	出版年	分類	コード	出版社
わたしが誰かわからない ヤングケアラーを探す旅	中村 佑子	葛藤と喜び、苦しみと快樂、引き裂かれてゆく感情の双方の極…。精神疾患を抱える家族に付き添うヤングケアラーの内的時間をめぐる、冒険的セルフドキュメント。『かんかん!』等掲載に書き下ろしを加え書籍化。	2023.11	M4	4654	医学書院
50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと	和田 静香	老後を目前に不安にかられた著者は「女性議員なら自分ごととして考えてくれるのでは?」と、日本で唯一パリテ（男女同数）議会を20年以上も続けてきた大磯町議会をたずねる。だが…。パワフルな政治&フェミニズムエッセイ。	2023.1	A1	4653	左右社
はじめてのフェミニズム	デボラ・キャメロン//著/ 向井 和美//訳	女性にはどんな権利が必要? 「女の仕事」はどう生まれた? 性描写はやめるべきか? 「男女同権にもとづいて女性の権利を擁護する運動」とされるフェミニズム。しかし、フェミニストのあいだにも意見の相違や対立が存在する。そんな多様で複雑なフェミニズムの論点を、さまざまな事例を通じて、率直かつ公平に描き出す。 なぜいつも男子がリーダーなのか? 女性もバリバリ働くべき? 支配、権利、仕事、女らしさ…。フェミニズムの基本的な問題を取り上げ、その複雑さを織り込みつつ、歴史的な変遷もふまえてわかりやすく記す。	2023.9	A2	4652	ちくまプリマー 新書
実母と義母	村井 理子	夫を亡くしたあと癌で逝った実母と、高齢の夫と暮らす認知症急速進行中の義母。「ふたりの母」の生きざまを通して、ままたらない家族関係を活写するエッセイ。『よみタイ』連載を加筆し単行本化。	2023.1	A1	4651	集英社
アートとフェミニズムは誰のもの?	村上 由鶴	よく見えなくなってしまったアートとフェミニズム。それが誰のものなのかを点検し、「みんなのもの」に軌道修正するために、フェミニズムを使ってアートを読み解く。	2023.8	J3	4650	光文社新書